

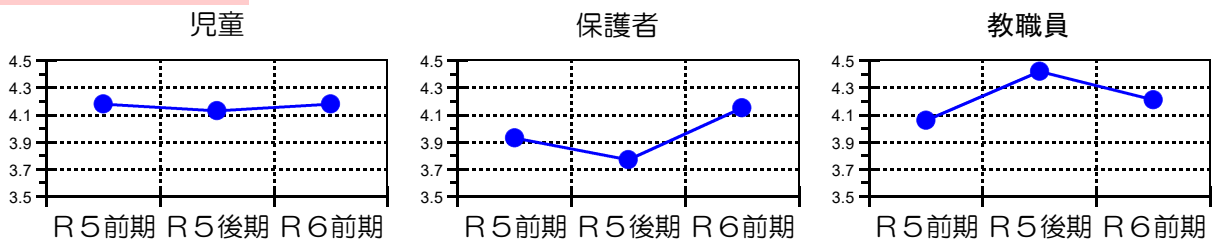
令和6年度【前期】学校評価アンケート結果

棒グラフは、児童・保護者・教職員それぞれの平均値と各項目の値を比較した数値
 <グラフの赤枠は課題として捉えられる項目、青枠は成果として捉えられる項目>

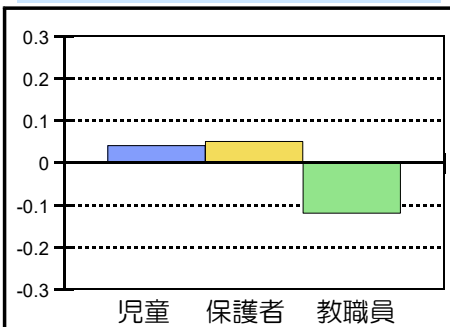
「確かな学力の定着」に関する項目

1 学習理解や学習活動の充実

経年比較



今回の結果



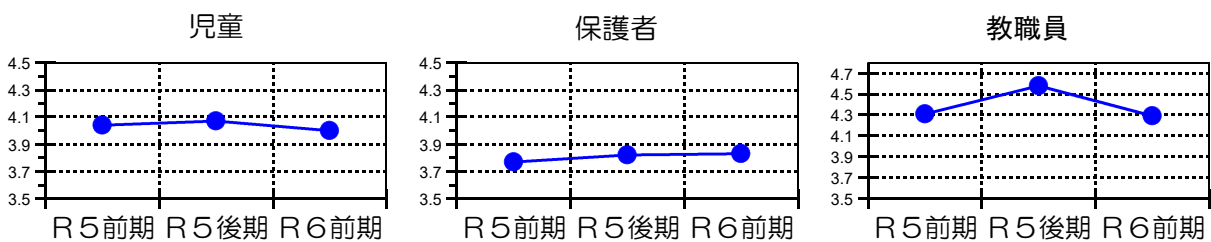
【児童】毎日の授業や勉強は、わかりやすく楽しい。
 【保護者】お子さんは授業がわかりやすく、楽しいと言っている。
 【教職員】学び続ける教師として指導力向上及び研修の充実に努めている。

【傾向】経年比では、児童と保護者が改善傾向にあり、教職員がやや低下している。今回の結果では児童と保護者がやや高く、教職員が低い傾向が見られる。

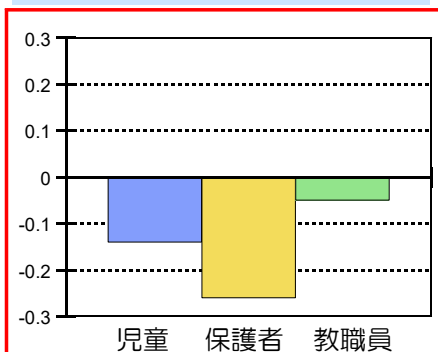
【対策】児童や保護者は、勉強や授業が楽しく、わかりやすいと感じている傾向がうかがえます。引き続き、主体的対話的で深い学びの実現や、個別最適な学びの充実に向けて、校内研修や授業改善に向けた校内研修を継続してまいります。

2 基礎基本の定着

経年比較



今回の結果



【児童】音読・漢字・計算が身につく、答えを説明できるようがんばっている。
 【保護者】お子さんは、読む・書く・漢字・計算が確実に身につけている。
 【教職員】基礎・基本の確実な定着と自ら学び考え、深める力の育成に努めている。

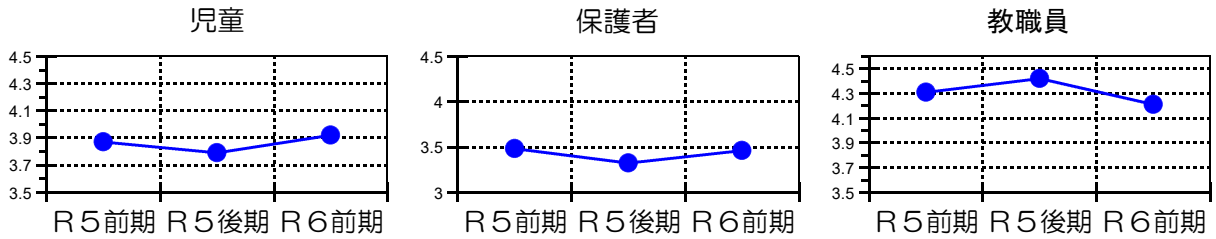
【傾向】経年比では、教職員がやや低下した。今回の結果は、全体的に低い傾向が見られ、特に保護者の評価が低くなっている。

【課題】保護者評価が低い。

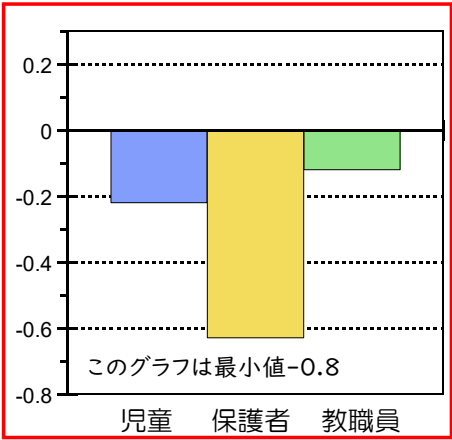
【対策】1の通り、授業については一定の評価を受けています。保護者が基礎基本が身に付いたと実感するためには、テストの結果や家庭での学習の状況によるところが大きい。時間を要するが保護者が成長を実感できるよう、基礎基本の定着に向けて実態に応じた対策と授業改善の継続を進めていきます。

3 学習意欲と家庭学習

経年比較



今回の結果

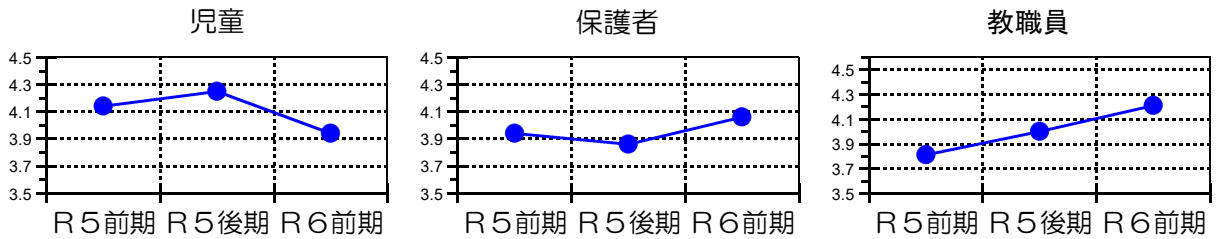


【児童】進んで学習に取り組んだり、家庭学習を続けたりしている。
 【保護者】お子さんは学習意欲があり、家庭学習にもよく取り組んでいる。
 【教職員】学習意欲の向上、家庭学習の習慣化に努めている。

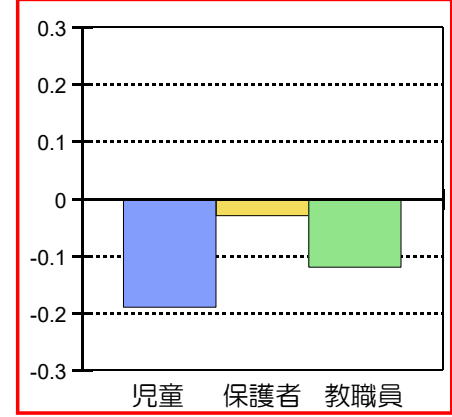
【傾向】経年比は、児童と保護者が改善傾向にあり、教職員が課題を感じている。今回の結果は、全体的に低い傾向が見られ、特に保護者の評価が著しく低くなっている（今回最大差）。
 【課題】今回のアンケートで最も低い数値となった（保護者）。
 【対策】学校はスマイルドリル等を活用し、宿題や家庭学習の充実を図っている一方で、ここ数年の全国学力・学習状況調査結果に表出しているように、家庭学習の習慣化に課題が見られます。各学級で習慣化に努める掲示等を行っていますが更に家庭学習強化期間などを設けて、家庭と連携した学習習慣の定着に取り組む必要があると考えています。

4 体験活動や考える活動の充実

経年比較



今回の結果

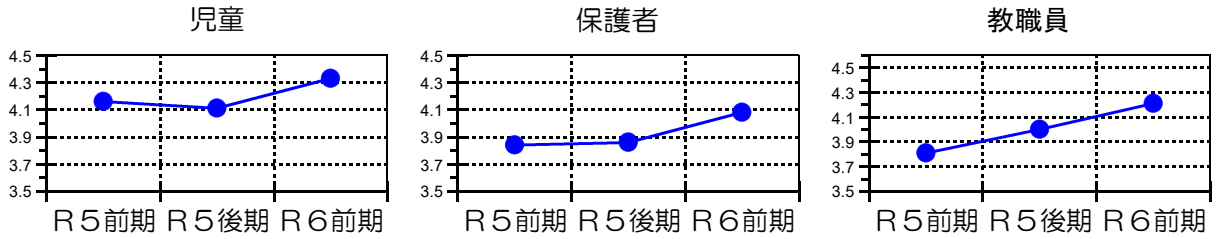


【児童】学習では、体験したり、自分で考えたりする時間がたくさんある。
 【保護者】学校は、お子さんが体験したり、自ら考える授業に力を入れていると思う。
 【教職員】日々の授業において、児童が体験や自ら考え、説明する時間を十分取り入れている。

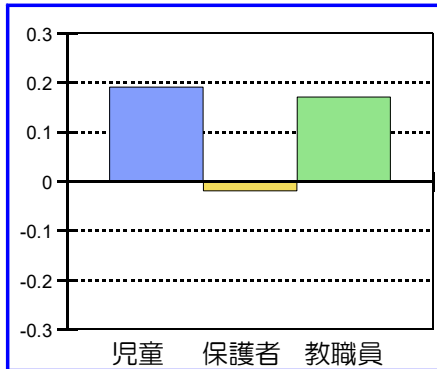
【傾向】経年比は、児童に課題が見られ、保護者と教職員は確実に改善している。今回の結果は、保護者がやや低く、児童と教職員が低くなっている。
 【課題】児童評価が前回よりも0.2ポイント近く低評価となった。
 【対策】毎時間の授業の中で、自力解決や協働学習の時間を設定していますが子どもの実感が伴っていない傾向がうかがえます。「自分で考える時間（自力解決）」「体験する時間」という言葉を意図的に使い、日常実践していることを子ども達に落とし込む必要があると考えています。

5 児童理解と個に応じた指導・支援

経年比較



今回の結果



【児童】先生に質問しやすいし、わかるまでいねいに教えてくれる。
 【保護者】先生たちは、お子さんをよく理解し、個に応じた指導をしている。
 【教職員】児童を理解し、よさを認め、やる気を引き出すなど個に応じた指導の充実に努めている。

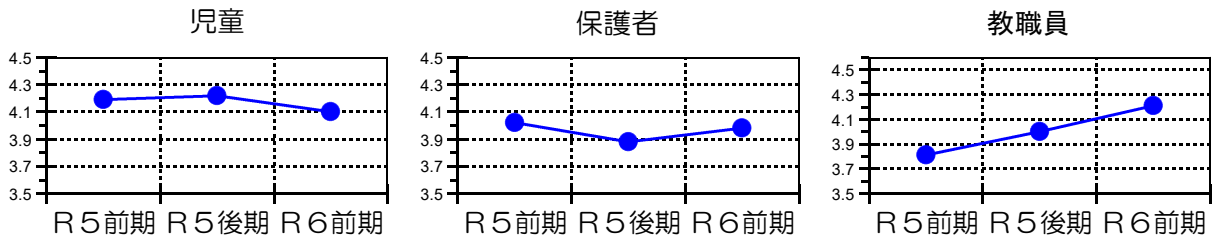
【傾向】経年比は、三者ともに確実な改善が見られる。今回の結果は、保護者がやや低いものの児童と教職員ではよい傾向がみられる。

【対策】特別支援教育や配慮を要する児童への対応も含めて、児童への対応について好評価を得ました。引き続き、個に応じた支援や個に寄り添った支援に努めてまいります。

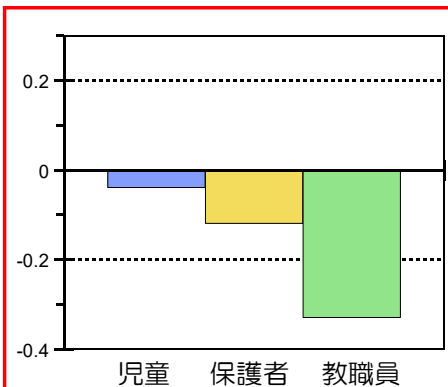
「豊かな心の育成」に関する項目

6 地域素材・人材の活用と特色ある教育活動

経年比較



今回の結果



【児童】地域や自分の住んでる場所のことを学ぶことができる。
 【保護者】学校は、地域の素材・人材・施設などを生かした特色ある教育活動をしている。
 【教職員】学校は、地域の素材・人材・施設などを生かした特色ある教育活動をしている。

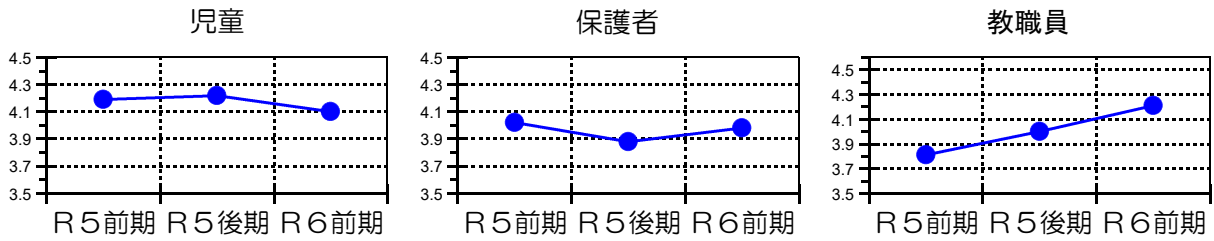
【傾向】経年比は、教職員が改善傾向にあり、児童がやや減少した。今回の結果は児童と保護者がやや低く、教職員が大きく下回っている。

【課題】経年比では改善しているが、今回の調査では低評価。

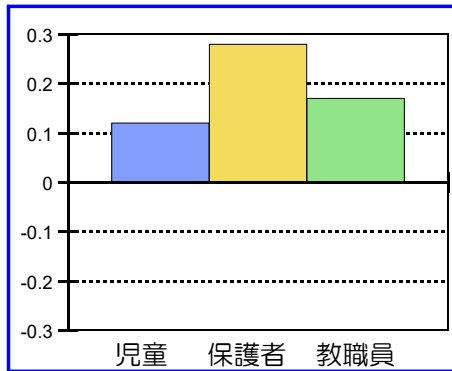
【対策】「おびひろ市民学」の出前講座を、改めてふるさと（地域）学習であることを再確認する必要があります。特色ある教育活動を進めるためには、これまでの取組や学習の充実と発展を最優先し、改善に努めてまいります。

7 情操を育む教育機会の充実

経年比較



今回の結果



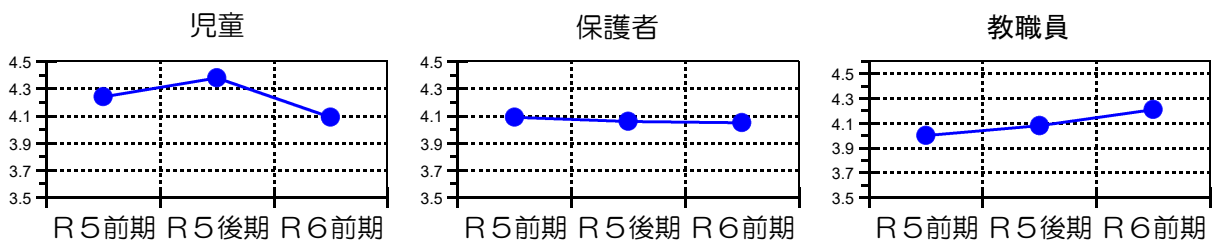
【児童】朝読書や合唱、花壇や農園・畑のお世話などの活動は楽しく、大切なものだと思う。
 【保護者】学校は朝読書や合唱、花壇や農園活動など情操を育む教育機会を充実させている。
 【教職員】朝読書や合唱、花壇や農園など情操を育む教育機会を充実させている。

【傾向】経年比は、児童のすうちが下がったものの全体的に改善傾向にある。今回の結果は、三者ともに上回り、特に保護者の評価が高かった。

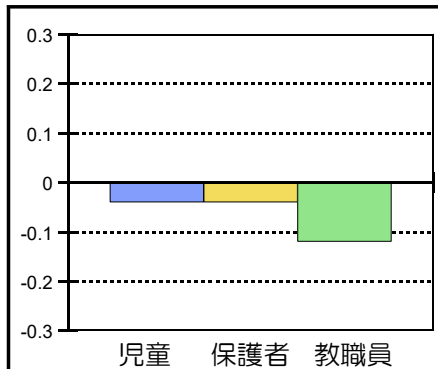
【対策】情操を育む教育については、高評価と改善傾向が見られました。国語の読む力に課題があることから、引き続き、国語の学習を核としながら、読書活動の充実と強化を図る取組を進めてまいります。

8 道徳教育の充実と豊かな心が育つ指導

経年比較



今回の結果



【児童】道徳の時間では、自分や友達のことについて考えたり話し合ったりしている。
 【保護者】学校は道徳の時間等を通して、豊かな心が育つ指導がされている。
 【教職員】特別の教科 道徳の実践を基に、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てている。

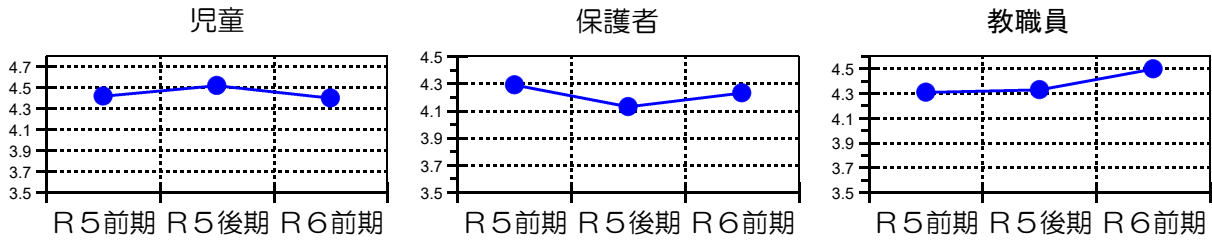
【傾向】経年比は、児童の数値が下がり、教職員が改善傾向にある。今回の結果は、三者ともにやや低いながらも、大きな落ち込みはなく、平均的な結果となった。

【対策】経年比で、児童の評価が下がっていることから、特別の教科 道徳の時間で「自分や友達のことを考えたり話し合ったりする時間」の充実や意図的設定に努めてまいります。

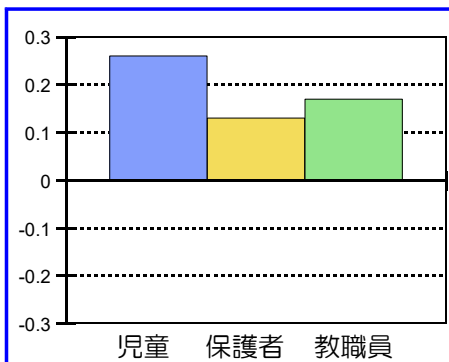
「健やかな体の育成」に関する項目

9 運動や健康、安全に関する指導

経年比較



今回の結果



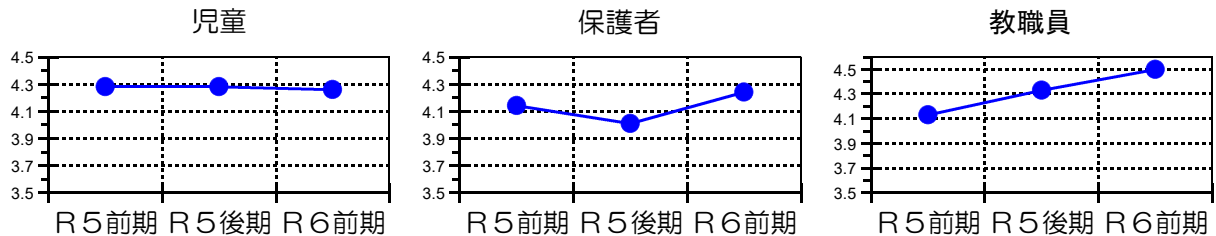
【児童】健康や安全に気をつけたり、体を使って遊んだり、運動したりしている。
 【保護者】学校は運動や健康、安全に関する指導が適切に行われている。
 【教職員】児童の実態を把握し、運動や健康・安全についての指導を適切に行っている。

【傾向】経年比は、保護者と教職員が改善傾向にある。今回の結果は、三者ともに上回り、特に児童の評価が高かった。

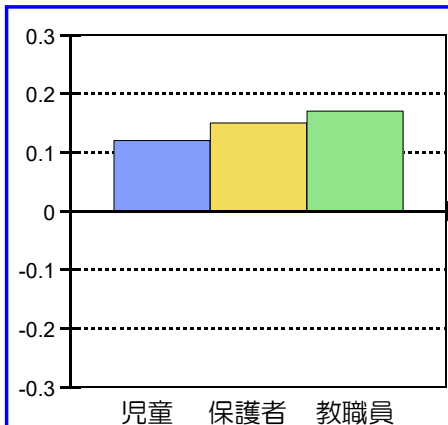
【対策】引き続き、運動の質を高め、量を確保する体育の授業改善に努めていきます。また、安全面に関する指導についてもこれまでの成果をもとに、日常的な指導を継続していきます。

10 安全指導と適切な生徒指導

経年比較



今回の結果



【児童】先生たちは、わたしの悩みなどを聞いて、相談にのってくれる。
 【保護者】先生たちは、事故やけが、トラブルや悩みなどに適切な対応をしている。
 【教職員】児童の事故やけが、トラブルや悩みなどに組織的で適切な対応をしている。

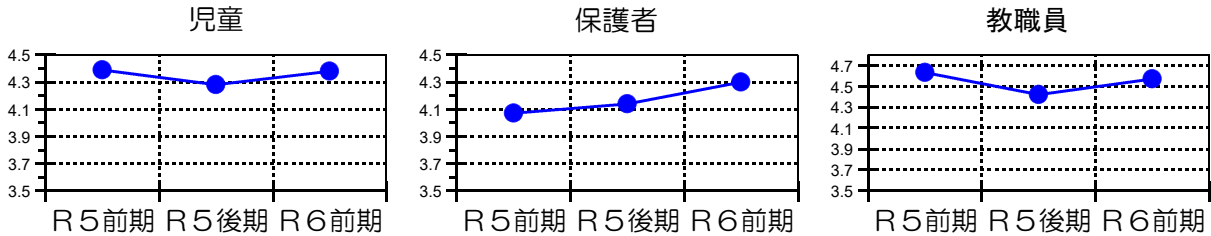
【傾向】経年比は、児童が前回並みとなり、保護者と教職員が改善傾向にある。今回の結果は、三者ともに上回り、評価のバランスよく高い数値となった。

【対策】この項目が高評価を得たのは日常的な子どもとの適切な関わりの現れと考えます。しかし、否定的な評価をしている児童もいることから、すべての子ども達が悩みを聞いてもらい、相談にのってもらえると実感できるよう、関わり方の工夫と改善に努めてまいります。

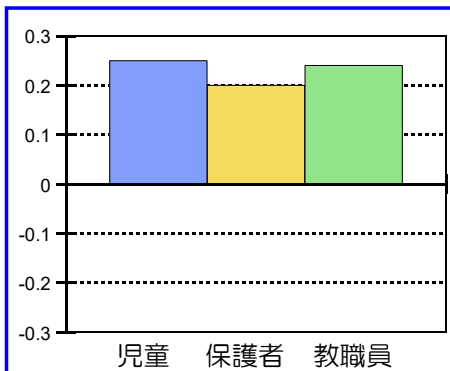
信頼される開かれた学校づくり

11 教育活動についての適度・適切・丁寧な情報発信

経年比較



今回の結果



【児童】学級だより、学校だよりなどで、みんなや学校のことがよく伝わっている。

【保護者】学校は、学校便りやホームページ・学級通信などで教育目標や経営方針、教育活動の様子についてわかりやすく伝えている。

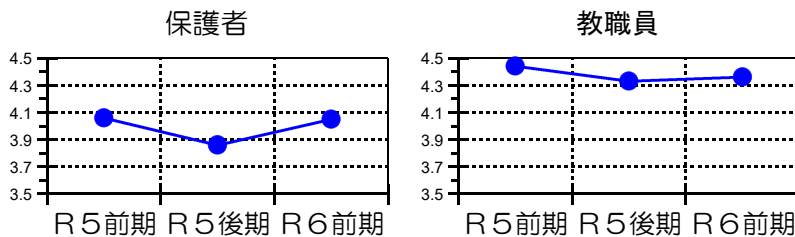
【教職員】学校は、学校便りやホームページ・学級通信などで教育目標や経営方針、教育活動の様子についてわかりやすく伝えている。

【傾向】経年比は、三者ともに改善傾向にあり、特に保護者は確実に改善している。今回の結果も、三者とも高評価で、いずれも0.2ポイント以上上回った。

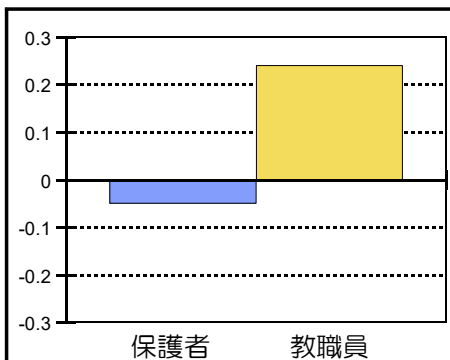
【対策】学級通信は写真やイラスト、児童の作品が多用され、保護者の興味関心を工夫をしています。今年度は特に学習（学力）を話題にする内容が増え、学習について家庭と情報を共有できる内容構成に努めています。

12 教育内容や活動の公開と要望や意見の体制

経年比較



今回の結果



【児童】質問項目なし

【保護者】学校は、教育内容や活動の様子を適切に公開し、要望や意見を受け入れる体制が出来ている。

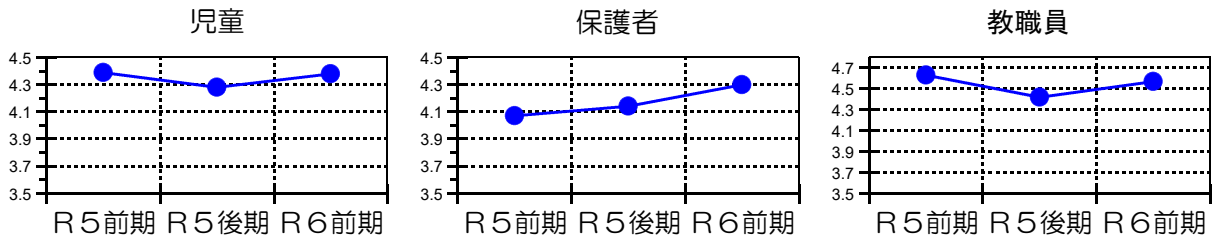
【教職員】学校は、教育内容や活動の様子を適切に公開し、要望や意見を受け入れる体制ができています。

【傾向】経年比は、保護者に改善傾向が見られる。今回の結果は、保護者はやや低いが平均的に近い。教職員は高評価となった。

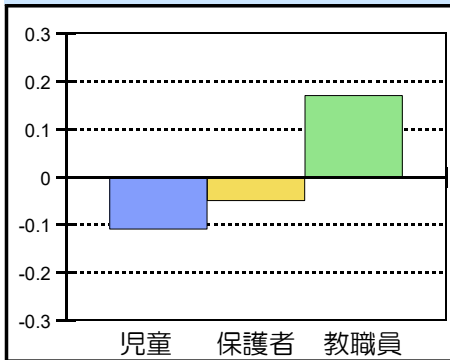
【対策】1学期中は要望や意見がほとんどなかったが、学校に伝えづらい雰囲気を創りだしてはいないか、十分に気をつける必要があると考えています。

13 教育環境整備と安全確保

経年比較



今回の結果

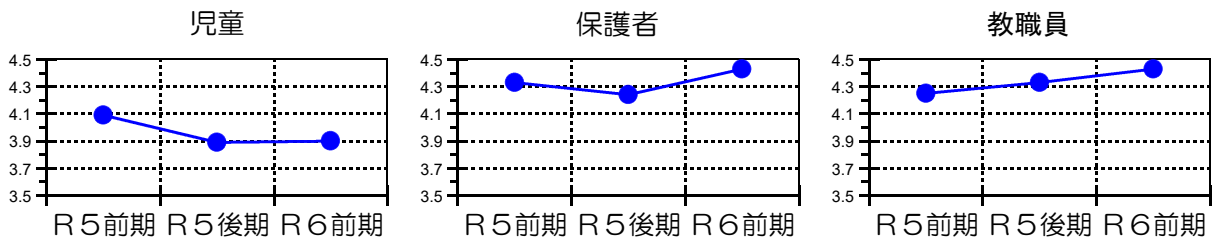


【児童】学校は、きれいで安全なところだと思う。
 【保護者】学校は、教室環境や校内の環境整備、安全確保に配慮している。
 【教職員】学校は、教室環境や校内の環境整備、安全確保に配慮している。

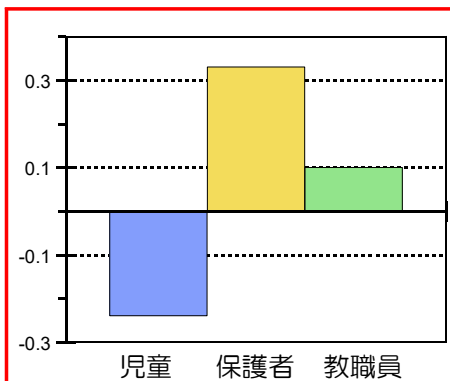
【傾向】経年比は三者ともに改善傾向にある。今回の結果は、児童と保護者がやや低く、教職員がやや高い評価となった。
 【対策】校舎の老朽化は否めませんが、その中でも、高評価を得ているのは、各学級の教育環境整備によるところが大きいと感じています。引き続き、児童の安全を最優先に事故やケガを起こさないよう目配りと気配り、見守りに努めてまいります。

14 安心して学び、安心して過ごせる場の提供

経年比較



今回の結果

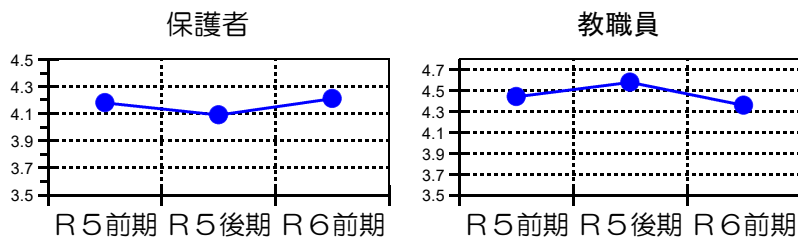


【児童】学校に行くのが楽しい。
 【保護者】おさんは楽しく学校へ通っている。
 【教職員】学校は児童が喜んで登校し、学べる場となるよう努めている。

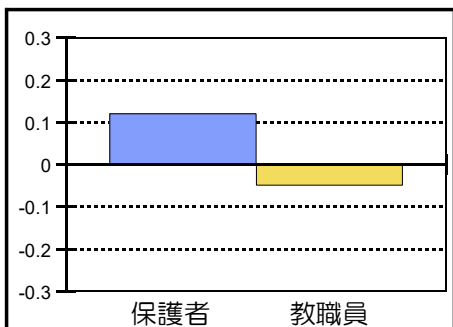
【傾向】経年比は児童が下げ止まり、保護者と教職員が改善傾向にある。今回の結果は、児童と保護者差が著しく大きい。保護者の高評価に対して、児童の低評価が顕著となっている。
 【課題】児童の評価が低い状態が続いている。
 【対策】楽しくない理由が、学習なのか、生活なのか、友人関係なのか、アセスメントツール等を活用して、原因を探ることを検討しなければなりません。個によって、理由が異なることが想定されるため、個に応じた指導、支援、環境整備を早急に行います。

15 相談や要望、期待や信頼への適切な対応

経年比較



今回の結果



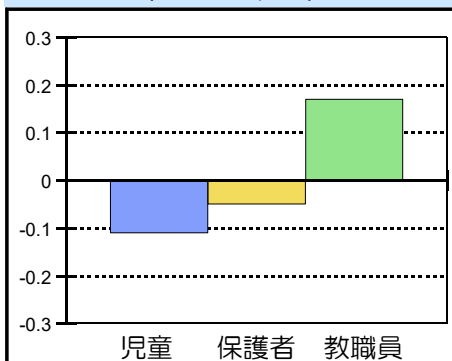
【児童】質問項目なし
 【保護者】学校や先生たちは、保護者からの相談や要望には適切に対応するなど、期待と信頼に応えている。
 【教職員】私たちは、教育公務員として自覚と責任を持ち（服務規律保持）、保護者からの期待と信頼に応えている。

【傾向】経年比は、保護者が改善し、教職員がやや下がった。今回の結果は、僅かな差はあるが、二者ともに平均的となった。

【対策】期待と信頼に応えていると実感している保護者が多い傾向がみられます。引き続き、児童が教育的愛情を感じられる丁寧なかかわり方や接し方を継続します。また、体罰、暴言を防止し、コンプライアンスを遵守するよう努めます。

グラフの説明

今回の結果



児童、保護者、教職員の評価にばらつきがあります。各者の評価を平均してみると、次の通り

児童4.14 保護者4.09 教職員4.33

となっており、保護者と教職員は0.24の差がある。純に数値を比較するだけでは、特徴や傾向を掴み切れないことから、各者の評価の平均値との比較を行いました。平均より高いものは肯定的、低いものは否定的と捉えることができます。

±0.1以内は平均的と捉えています。